

ウォータープルーフ ルーフバッグ 取扱説明書

この度は商品をご注文いただきありがとうございます。取り付けする前にこちらの取扱説明書を必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しく製品をご使用ください。

商品内容

番号	名 称	略 図	数 量
	ウォータープルーフ ルーフバッグ本体		1
	ドアフックストラップ		4
	保護マット		1

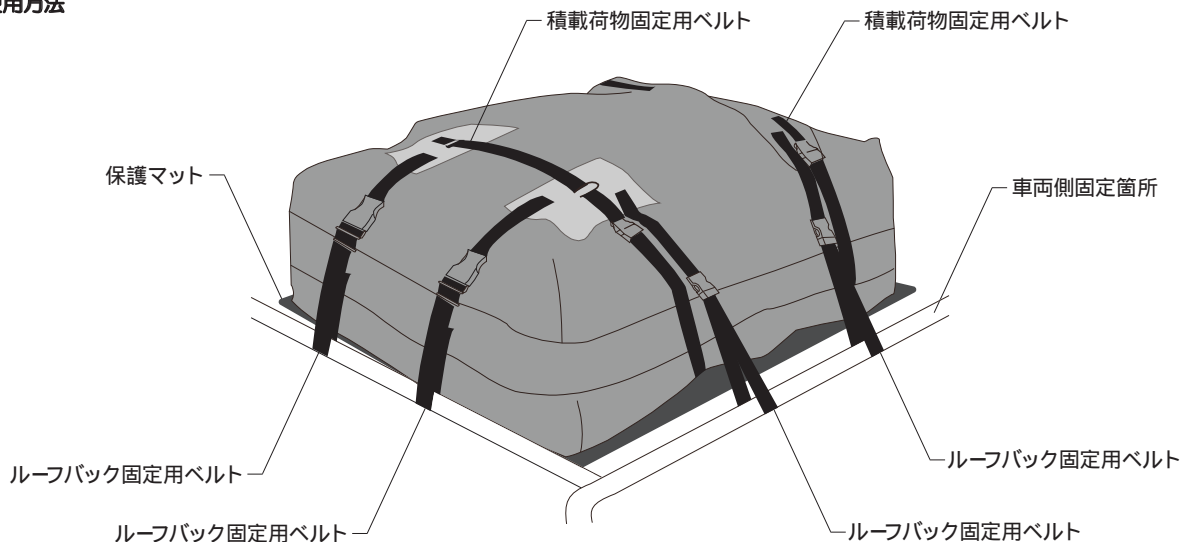
番号	名 称	略 図	数 量
	フレームパイプ 180mm	-	4
	フレームパイプ 267mm	-	12
	フレームパイプ 350mm	-	12
	フレームパイプジョイント(ストレート)	-	16
	フレームパイプジョイント(三方)	-	8

適合車種

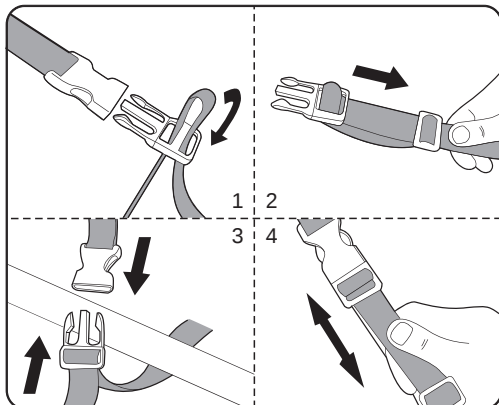
汎用

取り付け構造図

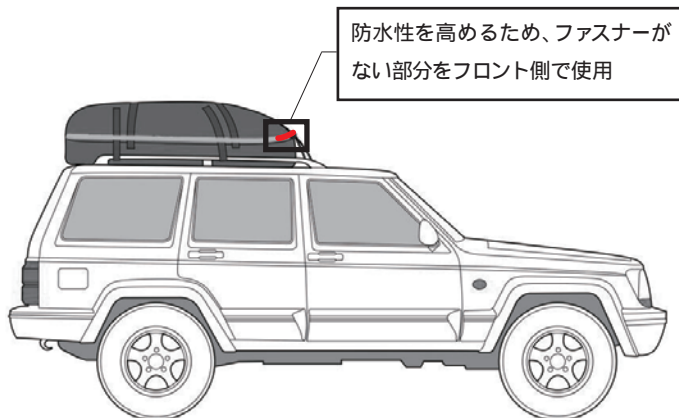
ベルトの使用方法



バックルの使用方法



ルーフバッグ本体の装着方向



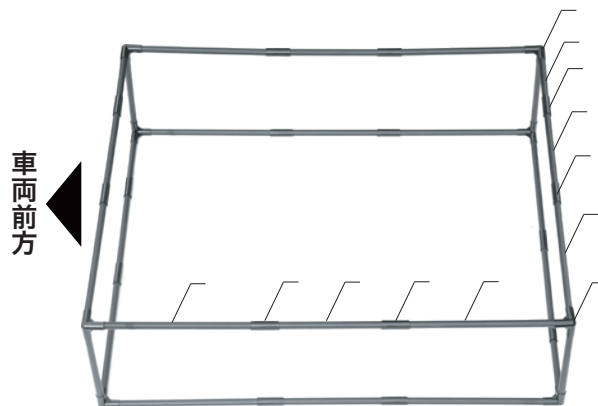
取付要領

1 フレームの組み立て

①右図を参考にフレームパイプを組み立てます。

②組み立てたフレームパイプをルーフバッグ内に入れます。

⚠ 注意 フレームパイプをルーフバッグ内に入れる際に無理な力を加えるとルーフバッグの破けやほつれなど破損の原因になります。注意して作業をおこなってください。



フレーム組み立て図

2 荷物の積載

①車両ルーフのルーフバッグ設置場所に保護マットを敷きま

👍 POINT 設置は車両ルーフの出来るだけ平らな箇所でおこなってください。

②保護マットを敷いた場所にルーフバッグ本体を載せます。

👍 POINT 取り付け構造図「ルーフバッグ本体の装着方向」を参考にファスナーがない部分をフロント側に配置してください。

③ルーフバッグ内に荷物を積載します。

👍 POINT 重量のある大きな荷物を下に、軽くて小さい荷物を上に積載してください。

④荷物積載後、ファスナーを閉じ、本体蓋をファスナー部に覆い被せます。

👍 POINT 防水性能を高めるため、ファスナー全体が本体蓋に覆われていることを確認してください。



3 ルーフバッグ本体の固定

純正ルーフレールやルーフキャリアに固定する場合

①取り付け構造図「ベルトの使用方法」を参考にルーフバッグ固定用ベルトを使用してルーフバッグ本体を固定します。

👍 POINT 固定用ベルトは左右前後均等に締め付けをおこなってください。

⚠ 注意 固定不良を防ぐため、ルーフバッグ固定用ベルトのバックル位置がファスナーと同じ位置にならないように調整してください。

⚠ 注意 ルーフバッグ本体の固定には積載荷物固定用ベルトは使用しないでください。



車両ドア枠に固定する場合

- ① 固定位置のドア純正ウェザーストリップを取り外します。
- ② 付属のドアフックストラップをウェザーストリップの溝にはめ込みます。
- ③ ウェザーストリップを元に戻します。
- ④ ドアフックストラップの輪っか部分に固定用ベルトを通し、ルーフバッグ本体を固定します。

POINT 固定用ベルトの締め付けは「ルーフキャリアに固定する場合」のPOINT、注意点と同様の内容に注意しておこなってください。



4 積載荷物の固定

- ① 取り付け構造図「ベルトの使用方法」を参考に積載荷物固定用ベルトを使用して積載荷物を固定します。

5 最終チェック

- ① ルーフバッグ本体、積載荷物がしっかり固定されていることを確認して作業終了です。

⚠ 製品のご使用について

- 製品の使用前に必ずバッグ本体、各固定用ベルトに破損がないことを確認してください。破損がある場合は使用を中止してください。破損がある状態で使用した場合、積載荷物落下等の重大事故につながる可能性があります。
- ルーフサイズがルーフバッグより大きい車両にてご使用ください。ルーフバッグがルーフサイズを超えた状態で製品を使用しないでください。
- 車両ルーフ耐荷重を超えた荷物は積載しないでください。
- 本製品の改造はおこなわないでください。
- フレームに大きな負荷が掛からないように使用してください。大きな負荷が掛かった際に破損する恐れがあります。
- 動物、可燃性、爆発性、その他危険物の輸送には使用しないでください。
- ルーフバックは軽量荷物用に設計されています、タイヤなど重量がある荷物には使用しないでください。
- バッグ内に先が尖ったものや角ばった物を入れる際は注意してください。バッグの内部で擦れることにより、破れや穴が開く恐れがあります。尖った物を入れる場合は、保護カバーや布で包むなどして、直接バッグの内部と接触させないよう工夫してください。
- 使用中は定期的に各固定用ベルトによりルーフバッグ本体および積載荷物が固定されていることを確認してください。
- 汚れを拭き取る場合、中性洗剤または水を含ませた柔らかい布を使用してください。シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。有機溶剤を使用した場合、製品の色落ち、破損の原因になります。
- 落下物は落とし主の責任になります。運行前に必ずルーフバックの破損がなく、固定状態が正しいことを確認して、安全な運行ができるようにしてください。
- 積載荷物はできるだけ中央に均等に配置してください。
- ルーフラックに固定する場合、ルーフラック本体がしっかりと固定されていることを確認してください。
- 製品の劣化を防ぐため、使用しないときはルーフバッグを取り外し直射日光や雨水があたらない場所で保管してください。
- ルーフバッグは完全防水ではありません。水や湿気、汚れにより故障や商品性を損なう恐れのある物の収納はしない